

3月11日午後2時46分  
東北地方太平洋沖地震発生

# 登米市内で 震度6強を観測



【地震によって大きく地面が裂け崩壊した東和総合運動公園の野球場】

3月11日、午後2時46分に三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。今まで経験したことのない激しい揺れに、誰もが驚き慌てたのではないのでしょうか。気象庁によると震源は三陸沖で、震源域は岩手県沖から茨城県沖まで広範囲におよび、東日本全体にわたる大きな揺れに見舞われました。登米市では、米山地区と南方地区で震度6強、その他の地区でも震度6弱から震度5強の大きな揺れを観測しました。

また27日後の4月7日、午後11時32分に再度震度6の強い余震が発生し、ようやく落ち着きを取り戻しつつある生活に再び緊張が走りました。

この地震により、市内では42人が重軽傷を負い、道路の陥没や土砂崩れ、家屋の損壊など甚大な被害が発生し、天災の恐ろしさを改めて見せつけられました。余震活動も活発で、現在も断続的に発生しています。市内全域において地盤がゆるくなっており、余震や雨による2次災害の危険性もありますので、十分注意してください。

## 私たちの「まち」の復興に向けて ～心を一つに～

この度の三陸沖を震源とする、東北地方太平洋沖地震による東日本大震災により、お亡くなりになられた市民並びに全国の犠牲となられた方々に哀悼の意をささげ、ご遺族様に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

また、現在、被災地の現場において昼夜を分かたず、懸命の活動を続けておられる皆様に敬意を表し、深く感謝申し上げます。

この未曾有の大震災により、市内においても建物の倒壊やライフラインの寸断など甚大な被害を受け、市民の皆様には大変なご不便をおかけいたしました。



登米市災害対策本部長（登米市長）

### 布施 孝 尚

さらに、東京電力福島第一原子力発電所における放射性物質放出事故により、日本において初めて原子力緊急事態宣言が発せられるなど、生活環境が憂慮される事態が起きております。

このような非常事態ではありますが、自主防災組織をはじめとする地域の団結力と献身的な活動に支えられ、また、全国の自治体や企業、ボランティアの皆様などから、本当に多くのご支援とご協力をいただき、日常の生活を取り戻し始めたところです。

余震への不安などを抱え、完全に立ち直るには相当な時間が必要ですが、この度の震災を教訓に、有事の際の初動体制や通信体制、正確な情報提供など災害対策のあり方について再点検し、安全で安心して暮らせる災害に強い「まち」をつくりまします。

加えて、国や県などの関係機関と連携しながら震災に関わる支援策を確立し、日常生活の支援はもとより、本市の基幹産業である農業をはじめとした産業の復興支援にも取り組んでまいります。

また、東北太平洋側沿岸地域の市町では、津波の直撃により壊滅的な被害を受けました。市では、一刻も早い市民生活の再建を最優先に取り組んでおりますが、被災市町に隣接する自治体として、近隣市町の復旧に向けた支援も行っております。

私たちの先人も幾多の苦難を乗り越え、この素晴らしい登米市を築き上げてこられたのですから、私たちもこの苦難を乗り越えていかなければなりません。

今年の長く厳しい冬を越え、震災をも耐え抜き、本市の花である「さくら」も、そのやさしく愛らしい花を咲かせ始めました。

大勢の皆様よりいただいた心温まるお励ましとご支援に応え、私たち市民の心を一つにし、一日も早い復興に向けて、ともに頑張ってみましょう。